

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|---|--------|---------------------|
| A-153 | 13-044 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名（原題／訳） | | |
| Alcohol use and spousal mental distress in a population sample: the Nord-Trøndelag Health Study. 一般集団における飲酒と配偶者の精神的苦悩の関係について | | |
| 執筆者 | | |
| Rognmo K, Torvik FA, Røysamb E, Tambs K | | |
| 掲載誌 | | |
| BMC Public Health. 2013 Apr 9;13:319. doi: 10.1186/1471-2458-13-319 | | |
| キーワード | | PMID |
| 飲酒、配偶者、精神的苦悩、不安、うつ | | 23570535 |
| 要 旨 | | |
| <p>目的： アルコール乱用と配偶者の精神的苦悩の関係は広く関心を呼んでいる。アルコール乱用者の配偶者は非乱用者の配偶者よりも強い精神的苦悩を経験する傾向があることが研究報告されている。しかしながら、飲酒量が最も多い層の配偶者に有意な結果が出なかったり、むしろ精神的苦悩が少ないという報告があり、実態は複雑である。本研究は、配偶者の精神的苦悩と大量飲酒、飲酒に起因する問題の関連について検討する。</p> <p>方法： The Nord-Trøndelag health studyのノルウェー一般住民のアンケート結果を解析した。解析の対象は11,584組である。酒類と飲酒頻度により飲酒量を推定し、飲酒に起因した問題（飲みすぎて注意されたなど）はCAGE質問法により評価した。解析には階層的重回帰分析を用いた。</p> <p>結果： 飲酒量と配偶者の精神的苦悩には負の相関が有意にみられ、飲酒に起因する問題と配偶者の精神的苦悩には正の相関がみられた。飲酒行動に対して互いに調和していないカップルは、調和しているカップルより、精神的な苦悩を経験することが示唆された。</p> <p>結論： 飲酒に起因する問題は配偶者の精神的苦悩のリスクファクターである。一方、飲酒者自身が自覚する飲酒に起因する問題を考慮に入れると、飲酒量が多いと配偶者の精神的苦悩に対して保護的な作用がみられる。飲酒は常に配偶者に悪影響を与えるという訳ではない。</p> | | |